

都内市部の物流効率化へ

配送業者に資本参加

トナミHD、第一貨物、久留米運送

トナミホールディングス(綿貫勝介社長)、第一貨物(武藤幸規社長)、久留米運送(二又茂明社長)の3社は6日、輸配送業務等の効率的運営を目的として、(株)ウインローダー(高嶋民仁社長)へ資本参加したと発表した。

トナミ運輸、第一貨物、久留米運送の3社は、2012年9月に東京〜大阪間の幹線輸送を

担う共同出資会社ジャパン・トランス・ラインを設立するとともに、業務効率化に関する検討を推進してきた。

検討の一環として、東京都の23区と島しょを除いた、いわゆる「三多摩地区」の32市町村宛て配送業務に関して、3社の配送貨物の集約メリットが高いと見込まれたことから、トナミ運輸が従前

から業務提携していたウインローダーへ一元化を図ることを提案、ウインローダー側がこれに合意した。

具体的には、3社がウインローダーの拠点に荷物を持ち込む形と、ウインローダーが3社のそれぞれの拠点に引き取りに行く形で、荷物の引き渡しが行われる。変化の著しい事業環境の中、物流

事業の一層の発展と将来的に安定した成長の相互支援を図るため、ウイン

ローダーはすでに普通株式の一部を3社に譲渡しており、3社はウインローダーに資本参加している。

ウインローダーは、東京都杉並区上荻2の37の7に本社を構え、一般区域貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業を展開している。1945年1月27日設立、資本金は5千万円。